

NORZIE PAK WAN CHEK

Journalist & Former News Anchor

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Norzie Pak WanChekはジャーナリストです。彼女はntv7とTV3の元ニュースプレゼンターです。TV3で、彼女はアシスタント割り当て編集者であり、ステーションの毎晩のニュースNightlineを固定しました。彼女は今日までフリーランスでナイトラインを固定しています。Norzieも生産しSoal Jawab海外のマレーシアとの政治 社会政治的な問題に焦点を当てた駅の毎週のトークショーをアンカ。ntv7ではNorzieはニュース放送ジャーナリストであり、英語とマレー語の両方の言語デスクのアシスタントプロデューサーであり、放送局のニュースブレイクであるEdisiSemasaのアンカーでもありました。彼女はさらにntv7の調査雑誌プログラムであるEdisi Siasatについて報告しました。これは、政府機関や活動のチェックアンドバランスとして機能し、人々の声を擁護しました。

Topics

- Asia
- Emcee
- Moderator
- Women

Norzieは、環境、科学技術だけでなく、人道含む探る様々な問題というMajalah3 TV3初のトップセミドキュメンタリー型プログラムにおける彼女の役割のためによく知られています。ジャーナリストおよびプログラムのホストとして、彼女はレポート資料を収集し、テレビのクルーと一緒に自分のストーリーを作成する責任がありました。彼女はまた、ステーションの現在の問題に関する注目すべき1回限りの特別番組の全体的な編集制作を管理する責任がありました。彼女の報告には、ヨルダン、レバノン、シリアのパレスチナ難民の状況が含まれていました。2006年のヒズボラとイスラエル間のレバノンでの戦争。タイのメーソートにおけるビルマ難民の状況。彼女と彼女のマジアラ3チームは、マレーシアで最初にジャーナリストのグループの1つであり、米海軍がUSSアブラハムリンカーンに乗ってインドネシアのアセに行き、ポストについて報告しました。 -2005年の津波の状況。

Norzieは、著名なイスラム教徒のアメリカ人の生活に特別な13エピソードのラマダンであるAssalam USAの2シーズンを制作、報告、ホストするために米国国務省の助成金を授与されました。このプログラムは、2008年の全米イスラムメディア賞の授賞式で最優秀イスラムドキュメンタリー賞を受賞しました。

Norzieは、仲間からも高く評価されています。彼女は、マレーシアのNAVY Elite Forceに関するレポートで、2003年にマレーシア国防省からベストTVジャーナリストに選ばれました。9/11以降の米国のイスラム教徒に関する彼女の特別レポート「CrescentOverAmerica」は、2002年のアジアテレビジョンアワードの最優秀ニュース/時事特別部門の最終ノミネートの1つでした。

2009年Norzieはメディア業界から離れ、利害関係者との関係と問題管理を専門とする国営公共交通会社Prasaranaとのコーポレートコミュニケーションを担当しました。そこで彼女は、RapidKLバスLRTおよび施設向けのユニバーサルアクセスまたはバリアフリー機能の実装を開始し、擁護しました。彼女のイニシアチブは、運輸省の障害者輸送委員会の下の道路輸送局JPJによるユニバーサルアクセスバスガイドラインの起草につながりました。

2011年、彼女は2010年11月にクアラルンプールを訪れた際に、タウンタービュで米国務長官のヒラリー・ロダム・クリントンにインタビューした後、メディア・プリマ・ベルハドの経営陣からテレビでのキャリア復帰を求められました。

2019年半ばにTV3を退職して以来、Norzieと彼女の夫であるAidid Marcelloは、テレビ制作とデジタルマーケティングのエージェンシーであるMindquest Productions Sdn Bhd

彼女は、カナダのノバスコシアにあるアカディア大学で英文学の学士号を取得し、比較宗教の副専攻を取得しています。また、ハワイのホノルルに本拠を置く東西センターの卒業生であり、米国議会によって設立された教育研究組織です。1960年。それは、アジア、太平洋、米国の人々と国家の間の架け橋と理解を構築することを目的としています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988